

常任委員會

- ・小中学生に、県立美術館等の内容の濃い芸術鑑賞を取り入れてほしい。
- 【常任委員会報告】次の点について要請します。
 - ・工事に係る監督業務、竣工検査については、万全の体制で実施するとともに、施行条件の悪い期間を避け、工期の遵守を図ること。
 - ・各課と関連する内容の案件については、連携を密にして取り組むこと。
 - ・限られた財源を有効かつ効率的に活用することで、継続的な事業については中間分析・検証をすること。
 - ・必要があれば事業の見直しを行うなど、事業への投資、規模、時期等を考慮しながら慎重に進めるこ

文教厚生
常任委員會

文教厚生		(防犯灯LED事業について)	
◎総務課所管	◎税務課所管	◎健康福祉課所管	◎産業課所管
Q 旧蓬田中・小平中の体育館も解体するのか。また、当分の間は利用できるのか。	A 現在、検討中。利用は可能である。	Q 行政区の要望はどれくらいか。	Q 設置の場所は。く設置していく。
Q 旧永田小校長住宅はどうするのか。	A 地域整備課補修員の休憩所として検討中。	Q 30～40基ほどある。	Q 今後の設置予定は。A 今回寄贈で20基、その後30基予定している。
Q コンビニ収納の納期限は。	A 約1か月。納期が過ぎたものは指定金融機関での支払いは可能。本人からの申し出により、便宜上コンビニ収納の納期限を延長できる。	Q 家族介護慰労金の周知方法は。	A 現在、制限はない。
Q 河川水質検査の結果は、いつなのか。	Q 人間ドック対象者拡大の考えは。	Q あじさい・ゆり園開催中のカートの事故	Q 河川水質検査の対象面積は。
A 3月中旬頃。公表す。	A 検討したい。	Q あじさい・ゆり園開催中のカートの事故	Q 暗渠排水事業の対象
◎住民課所管	◎税務課所管	◎健康福祉課所管	◎産業課所管
Q 河川水質検査の結果は、いつなのか。	Q 人間ドック対象者拡大の考えは。	Q あじさい・ゆり園開催中のカートの事故	Q 暗渠排水事業の対象面積は。
A 3月中旬頃。公表す。	A 検討したい。	Q あじさい・ゆり園開催中のカートの事故	Q 河川水質検査の結果

Q 出店者の店舗との接觸事故。
A カートは芝桜まつりでも運行するのか。
安全面は、
A 予定をしている。通路の拡幅をしている
安全確保のうえ実施したい。
Q 獣害による遊休農地
が発生しないよう、
イノシシ対策に力を
入れるべき。
A わな設置等の補助について周知を図る。
◎地域整備課所管
Q 村道逆水論田線の土地買収は完了したのか。
A 河川協議や盛土工事等の影響により、完了していない用地もある。引き続き交渉していく。
Q 乙空釜浄水場の源水調整池清掃業務は、
A 今後は、川からの取水が可能となつたので柔軟に対応していく。

A 維持管理のコストが莫大であれば、検討すべきと考える。
(滞納対策について)
Q 滞納の場合の下水道はどう止めるのか。
A 専用器具で公共枠を止める。まだ使ったことがない。
Q 上下水道には保証人を付けることはできないのか。
A 使用料であり、難しい部分がある。

◆要望

- ・ 軽自動車税は、訪問してでも100%徵収するべき。
- ・ 病気の早期発見のため、健診受診体制の充実を図つてほしい
- ・ 平成記念公園の松くい虫被害の迅速な対応をお願いする。

【常任委員会報告】 次の点について要請します。

- ・公民館の役割（機能）・活動の目的として、地域の連帯感を醸成し、学校等の関係機関、団体、サークルなどと連携し、地域に根差した活動の展開が期待されている。建物は築40年が経過しており、構造は講堂と事務室に分かれており、地震等で接地面に大きな負荷が加われば被害の発生が予想されることから、不特定多数の利用や避難所の建物として早急な対応をすること。

○委員会付託
〈平成30年第3回議会 定例会付託案件〉

- ・審査の結果「継続審査」されたが、さらに調査・審査・協議をすることから、引き続き継続審査としました。

【常任委員会報告】

13 ひらた議会だより 170号